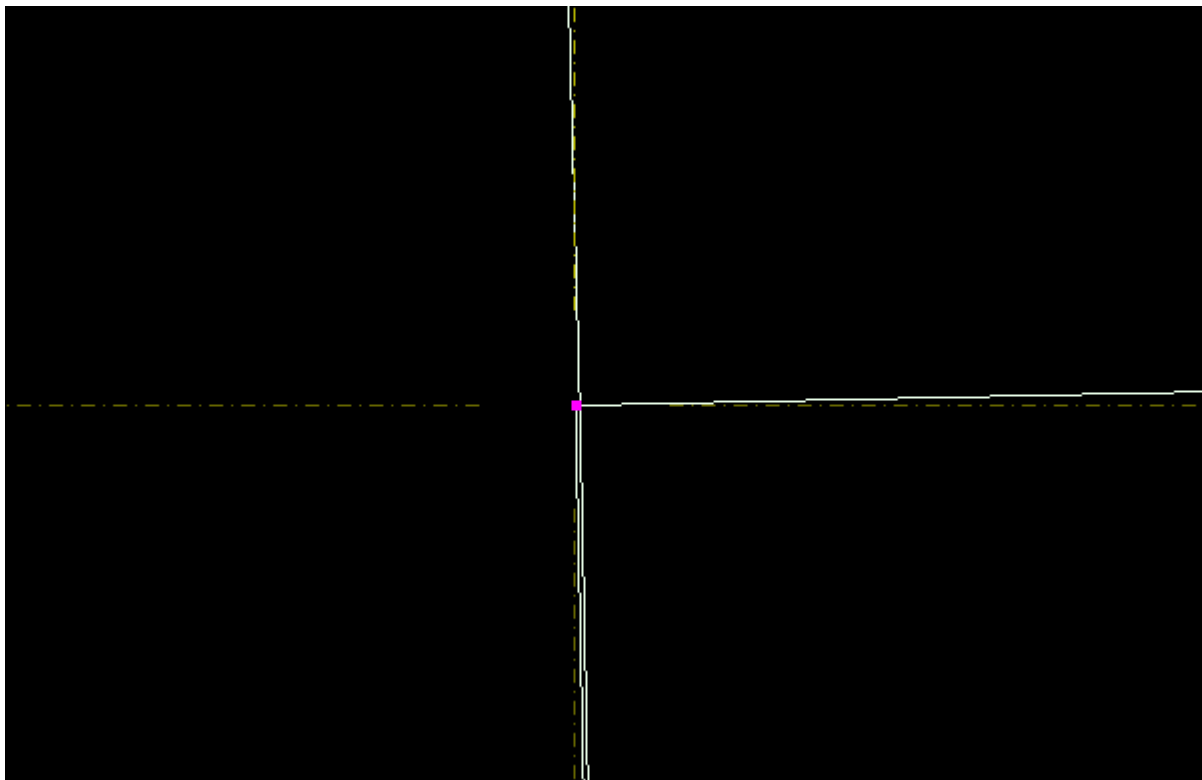


基盤地図情報作成検査ツール バージョン 1.35 更新記録

2009/10/18
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. 基盤地図情報 XML 検査 修正

[基盤地図情報]-[基盤地図情報 XML 検査]の[位相一貫性 3]-[交差チェック]の許容誤差を 0.0 あるいはほとんど 0.0 に近い値を設定しても、微小なポリゴンの重複が検出できない問題を修正しました。

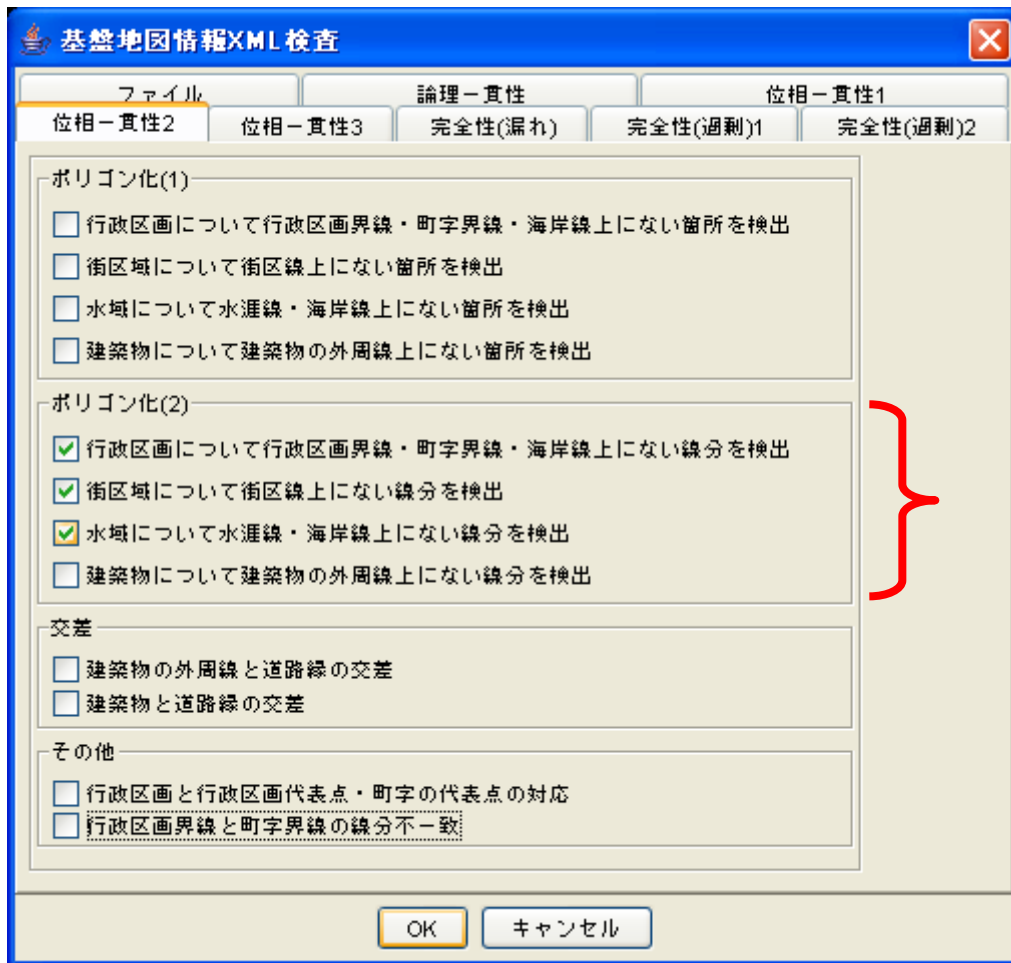


上図で縦線は左側の建築物、横線は右下側の建築物です。右下側の建築物が 0.1mm 程度、左側の中に入っているケースですが、許容誤差を 0.0 にしても検出できていませんでした。

[基盤地図情報]-[シェープファイル検査]も修正しました。

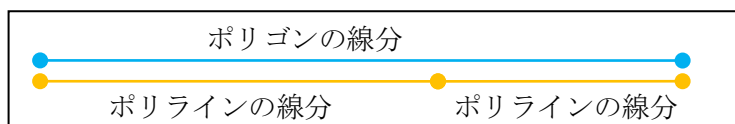
2. 基盤地図情報 XML 検査 追加

[基盤地図情報]-[基盤地図情報 XML 検査]の[位相一貫性 2]に「ポリゴン化(2)」を追加しました。



【ポリゴン化(2)】

上記「ポリゴン化(1)」はポリゴンの頂点と中点について検査しますが、「ポリゴン化(2)」では、ポリゴンの線分について、始点と終点の座標が一致する線分が参照するポリラインになればエラーとします。ポリゴンの線分ひとつに対して、ポリラインの線分が2本ある場合などエラーとなります。



また、[基盤地図情報]-[シェープファイル検査]にも「ポリゴン化(2)」を追加しました。